

## より良い学校づくりを目指して

副校長 宮下 哲哉

4月も最終日となり、学校を取り巻く景色も、桜色の景色から新緑の景色に移り変わってきました。吹く風もとても心地よく感じる季節となりました。校舎にも、明るい児童・生徒の笑顔や声が満ちています。

今年度、小学部と中学部を担当することになりました副校長の宮下です。一年間どうぞよろしく願いいたします。

4月15日(水)の全校保護者会において令和8年度の学校経営計画を御説明いたしました。今年度において本校は、「一人一人に応じたリーダーシップを育成する学校」と「本校関係者のウェルビーイングの向上により、信頼され、親しまれ、やりがいをもてる学校」の2点を目標とし、全教職員が一丸となって教育活動を進めてまいります。

「一人一人に応じたリーダーシップ」とは、児童・生徒が様々な活動に対して自ら考え、主体的に取り組むなかで、自ら課題に対する答えを導き出せるようになることであり、また、他者の考えや行動を尊重し、ともに課題解決に向けて動けることだと考えます。そのためにも、児童・生徒の主体的な動きや様々な活動の中での気づきを引き出せるよう、教職員一人一人がしっかりと意識し取り組んでいきます。

「本校関係者のウェルビーイングの向上により、信頼され、親しまれ、やりがいをもてる学校」とは、児童・生徒・保護者、地域や本校の関係者、そして教職員と学校に関わる全ての人があらゆる面において「良好」の関係にあることを目指していると考えます。児童・生徒にとっては、学校生活が楽しく、友達や教職員とともに健やかに成長する場であることと、保護者の皆様にとっては、お子さまの健やかな成長がはかられ、安心して通学できる場であることと考えます。そして、地域や関係者の皆様にとっては、学校教職員とともに、それぞれの専門性を生かし、児童・生徒を中心に置いた支援への連携ができ、地域の活性化につながることであり、教職員にとっては、専門性が向上し、その専門性を生かした授業や行事を通じて児童・生徒の成長を通じて、達成感ややりがいを感じられることだと考えます。一つも欠けることなく、それぞれの「ウェルビーイング」を向上させることが、より良い学校づくりに必要であり、大切なのです。

今年度も年間を通じて様々な活動を予定しています。児童・生徒の笑顔があふれ、一人一人が主体的に取り組む学校を目指していきますので、保護者の皆様や福祉園職員の皆様、地域の皆様におかれましては、今後とも御理解と御協力をお願いいたします。



【高等部農園芸班の芝桜が美しい季節です】